

教科	国語	単位数	2単位	学科・学年・コース	1年 普通・特進コース
使用教科書	高等学校 「新編現代の国語」(東京書籍)				
副教材等	「常用漢字ダブルクリア四訂版」(尚文出版)「ビジュアルカラー国語便覧改訂版」(大修館書店)				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力判断力表現力 等	学びに向かう力人間性 等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習方法

授業の進め方

- ①最初の授業でオリエンテーションを行い授業の進め方学習方法評価方法等について説明する。
- ②学習計画に沿って授業を行い、課題提出・小テスト等を通して学習内容の定着を図る。
- ③図書館を利用した調べ学習を取り入れ辞書及び国語便覧活用の定着を図る

3 提出課題等について

年間を通して行う提出課題

- ①授業・家庭学習で使用したノートやワークシート(プリント)の提出 ※プリント類は必ずファイルに綴ること。
- ②漢字学習「常用漢字ダブルクリア四訂版」P2～P59(5級～4級までの範囲)の提出・範囲を指定し毎週1回程度小テストを実施します。計画的に学習に取り組みましょう。

1学期の課題・・・意見文

- ・校内弁論大会の予選を兼ねて全校生徒に1200字～1400字程度の意見文を書かせ発表させています。(日頃から身の回りの事に関心を持ち題材探しをして下さい。)

夏休みの課題・・・ダブルクリアの定着

- ・ダブルクリア4級までの全範囲を徹底的に学習します。9月と2月にテストを行います。

4 評価方法

令和4年度入学生より新学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして3つの観点及び評価資料に基づいて行います。

- (1) 3つの観点 …… 1. 知識・技能 2. 思考・判断・表現 3. 主体的に学習に取り組む態度
- (2) 各観点の評価資料

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
評価資料	学習状況定期テスト 単元テスト漢字テスト 実技 課題レポートなど	学習状況論述・課題レポート グループ活動ペア活動 作品制作・表現活動 定期テスト単元テストなど	学習状況 音読テスト・暗唱テスト 課題レポート宿題提出 振り返りシートなど

- (3)各学期の評価は達成状況を基にABCの3段階で行います。

評価	評価の基準	達成状況
A	十分満足できる	80以上～100以下
B	おおむね満足できる	50以上～80未満
C	努力を要する	0以上～50未満

(4) 学年末の評定は各観点の年間達成状況により以下の5段階法で行います。

評定	評価の基準	総括的達成状況
5	十分満足できるものうち特に程度が高い	80以上～100以下
4	十分満足できる	65以上～80未満
3	おおむね満足できる	50以上～65未満
2	努力を要する	35以上～50未満
1	努力を要すると判断されるものうち特に程度が低い	0以上～35未満

5 学習の計画

期	月	教 材	授 業 時 間	学 習 目 標	評価の観点			
					知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
一 学 期	4	オリエンテーション	1	○年間の学習目標を設定し授業への心構えを作る。	◎	◎	○	○
		図書館オリエンテーション	1	○図書館の利用マナーについて理解する。	◎	◎	○	○
		基礎学習	2	○文章を読み漢字や語句の知識を養う。	◎	◎	○	○
	5	自己を見つめる 随想ルリボンカミキリの青	4	○随想の読み方を習得する。 ○体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。	◎	○	○	◎
		自己を見つめる 話す・聞く 気になるニュースについて話そう	3	○情報を整理し、内容や構成に注意して話す。	◎	◎	○	○
		中間テスト						
		意見文 (校内弁論大会原稿)	4	○自分の身の周りや社会に関心を持つ。 ○自らの意見を述べ他者の意見を聞く。	◎	○	◎	○
	6	他者に出会う 評論 未来をつくる想像力	4	○情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 ○さまざまなメディアの特長を知り、受信者としても送信者としても適切な判断のもと、使い分ける。	◎	○	○	◎
		期末テスト						
		7	言葉と生活1 話す・聞く 分かりやすい説明をしよう	4	○目的や相手に合った分かりやすい説明をする。	◎	◎	○
9	視野を広げる 無彩の色		4	○具体例の役割を押さえながら文章を読み、筆者の価値観と主張をつかむ。	◎	○	○	◎

二 学 期	9	話す・聞く 情報を整理しながら話し合 おう	3	○話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。	◎	◎	○	○
	10	社会と関わる 鍋洗いの日々	4	○自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対す る思いを読み取る。	◎	○	○	◎
		中間テスト						
		書く 憧れの職業について調べ整 理してまとめよう	7	○調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくま とめる。	◎	○	◎	○
11 12	言葉と生活 話す・聞く 発送を広げる方法を使って 話し合おう	4	○発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。	◎	◎	○	○	
	書く ○新聞記事を読んで意見文 を書こう	8	○記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をま とめる。	◎	○	◎	○	
	12 期末テスト							
	○グループで問い作りに挑 戦	3	○問いを作って絞り込み、書くための題材を見つける。	◎	◎	○	○	
三 学 期	2	世界とつながる 随筆 りんごのほっぺ	4	○出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と ○作品に一貫する筆者の思いを読み取る。	◎	○	○	◎
		書く 読み手のアドバイスを生か して紹介文を書こう	6	○助言をもとに推敲して、よりよい文章に仕上げる。	◎	○	◎	○
		期末テスト						
	3	話す・聞く 資料を活用して発表しよう	3	○発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。	◎	◎	○	○
一年間の総括		1	○一年間の学習内容を振り返り次年度の学習目標を立 てる。	◎	○	◎	○	